

HL7適合性認定トライアル HL7 CDA R2 診療情報提供書

2011年7月15日

日本HL7協会 適合性認定委員会
副委員長 清水俊郎(株式会社SBS情報システム)

≡ 検証の対象

- SS-MIX診療情報提供書においては
 - ▶ 診療情報提供書(本文): CDA R2
 - ▶ 添付情報
 - 処方歴: HL7 V2.5
 - 臨床検査結果: HL7 V2.5
 - 検査画像: DICOM
 - ▶ IHE-J PDIに準拠したCDへの格納
- 処方歴、臨床検査結果(HL7 V2.5)、および検査画像(DICOM)はスコープ外とした

■ 対象規格

日本HL7協会標準基準日本HL7協会標準規格
HL7J-CDA-005 診療情報提供書規格(医療機関
への紹介状) Ver 1.00

■ 手順

- ▶ XMLスキーマを使用した、CDA文書のXML形式の妥当性の検証
- ▶ 検証シナリオに従ったチェックリストを使用した、項目ごとのより詳細な検証

HL7 検証のシナリオ(1)

診療情報提供書

提供先	施設名	HL7 総合病院	(御中)		
	住所	105-0001 東京都港区虎ノ門7-10-1			
	TEL	03-3506-0000			
患者	氏名 (カナ)	山下 圭子 (ヤマシタ ケイコ)		患者番号	10001
	生年月日	1970年5月5日		性別:	女性
	住所	158-0083 東京都世田谷区奥沢9-2-3 マンション富士		連絡先	(自宅 TEL) 03-3333-0000 (職場 TEL) 03-5555-0000
提供元	施設名	CDA クリニック		作成日:	(実際の作成年月 日を西暦で設定)
	医師	山田 太郎		(署名)	
	住所	422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂8-10-1			
	TEL	054-283-0000			

≡ 検証のシナリオ(2)



目的	一般診療依頼
連絡事	患者様の貴病院での治療が終了する際には、ご連絡下さい。
生活習／リスク要因	体操部で毎朝 2Km のランニング有り。
身体所見	・身長: 156.0cm ・体重: 55.8kg ・体温: 36.1°C ・血圧: 155/90mmHg ・脈拍: 63/min
現疾患(診断内容)	検診にて MDL(r/o g. u.)及び肝障害 (AST75、ALT82、 γ -GTP131)を指摘された。A大学病院より紹介。

5

≡ 検証のシナリオ(3)



現在の処方(現投与)	・Rp1: ジルテック錠 10mg 1錠 1日1回 就寝前 (14日分) ・Rp2: ネオマレルミンTR錠 6mg 1錠 1日2回 朝夕食後 (14日分)
既往歴	2011年2月より降圧剤服用
アレルギー	なし
検査所見	添付資料を参照ください
予防接種	3種混合 小学校2年時
家族歴	父:糖尿病
添付資料	ファイル名: LabDataHL7

6

HL7 検証のシナリオ(4)



注)

- 添付ファイルは、検査データを想定していますが、内容は、認定の対象外とします。
- 上記の項目のみを、XML のタグとしてください。
- 施設の OID は、以下の通りとします。

[診療情報提供先医療機関施設 ID 発行機関 OID]

2.16.840.1.113883.2.2.3.10.2

[診療情報提供元医療機関施設 ID 発行機関 OID]

2.16.840.1.113883.2.2.3.10.2

[診療情報提供先医療機関施設 ID]

HL7 総合病院: 11

[診療情報提供元医療機関施設 ID]

CDA クリニック: 12

[患者 ID 発行機関 OID]

HL7 総合病院: 2.16.840.1.113883.2.2.3.10.2.11

CDA クリニック: 2.16.840.1.113883.2.2.3.10.2.12

HL7 認定チェックシート



分類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	項目名	多重度	必須	データ型	チェック事項	規格参照	判定	備考	データ(3回目)
XMLヘッダ	?	xml																			
		version												1.1	○	ST					1.0
		encoding												0.1	○	ST					UTF-8
		xml:stylesheet												0.1	○	ST					
		type												0.1	○	ST					text/xml
		href												0.1	○	ST					HL7CDA.XML
ヘッダ情報		ClinicalDocument												0.1	○	ST					
		xmlns												1.1	○	ST		423			urn:hl7-org:v3
		xmlns:xsi												0.1	○	ST					
		xsi:schemaLocation												0.1	○	ST					
		typeId											CDAモデルID	1.1	M	II					
		extension												1.1	○	ST		521			POCDH000040.F00
		root												1.1	○	UID		521			2.16.840.1.113883.2.2.2
		templateId											診療情報提供書テンプレートID	0.1	○	II					
		root												1.1	○	UID					
		id											診療情報提供書ID	1.1	R	II		521			
		extension												0.1	○	ST					
		root												0.1	○	UID					
		assignedAuthor												0.1	○	ST					
		displayable												0.1	○	BL					
		nullFlavor												0.1	○	CS					N
		code											診療情報提供書コード	1.1	R	CS		521			
		code												1.1	○	ST					
		codeSystem												1.1	○	UID					MD000730
		codeSystemName												0.1	○	ST					1.2.392.2001.195.2.1
		displayName												0.1	○	ST					JMX
		title											タイトル	0.1	○	ST		521			ReferralNote
		effectiveTime											発行日時	1.1	R	TS		521			診療情報提供書(総括)
		value												1.1	○	ST		521			20110523
		confidentialityCode											アクセス基準	1.1	R	CE		521			
		code												1.1	○	ST					N
		codeSystem												1.1	○	UID					2.16.840.1.113883.5.25
		languageCode												0.1	○	CS		521			
		code												1.1	○	ST					ja-JP
		setId											診療情報提供書UID	0.1	○	II		521			
		extension												0.1	○	ST					
		root												1.1	○	UID					
		versionNumber											バージョン番号	0.1	○	INT		521			
		value												1.1	○	ST					
患者情報		recordTarget												1.1	○	ST		522			
		typeCode												1.1	○	CS					RCT
		context/ContextCode												1.1	○	CS					OP
		patientRole												1.1	○	ST					

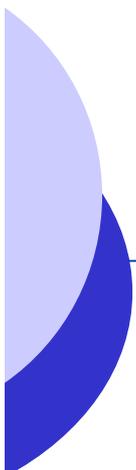
判定値	説明
○	HL7規格(診療情報提供書規格)に反していない。
△	HL7規格(診療情報提供書規格)に反していないが、改善の余地がある。
×	HL7規格に反している。 または、テストシナリオに反している。 (違反内容は備考欄を参照のこと。)
-	対象テストデータに該当値なし。

■ 全般

- ▶ シナリオに準拠していること
- ▶ 値が設定されていない不要なXML要素は出現させるべきではない。
- ▶ 例) 患者氏名について
 - family要素内に姓名をまとめて記述した場合、given要素が空で出現していると、名が未入力であるのか、姓と名の両方を表しているのかを区別することができない。

■ 規格書制約

- ▶ 患者氏名、医師氏名、患者住所、紹介元機関住所、紹介先機関住所を構造化する方が望ましい。
- ▶ 例)住所の表記について
 - state, city, streetAddressLineの各要素をそれぞれ使用し、構造化して記述する
 - 構造化できない場合にはstreetAddressLine要素に記述しても構わない。
(streetNameは規格書の誤り。正しくはstreetAddressLine)



ご清聴ありがとうございました。